

# 2020年10月1日から「注射生ワクチン」同士の接種を除き 異なるワクチンを接種する際の、 接種間隔の制限が一部緩和されます。

2020年9月30日までは、異なる種類のワクチンを接種する場合、一定の日数を空ける接種間隔を規定していました。2020年10月1日から注射生ワクチン同士を接種する場合以外は、異なるワクチンを接種する際の接種間隔の制限が一部緩和されます。注射生ワクチン同士の接種は従来通り27日以上間隔を空ける必要がありますが、経口生ワクチン、不活化ワクチンは接種間隔を設ける必要がなくなります。なお、同時接種は現行通りです。また接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹などの症状が出ることがあります。規定上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や接種部位の腫脹がないことなど、体調に問題がないことを確認してから、接種する必要があります。

## 2020年9月30日までの接種間隔制限

- ・「生ワクチン接種後27日以上あける」
- ・「不活化ワクチン接種後6日以上あける」

## 2020年10月1日から

- ・「注射生ワクチン→注射生ワクチンの場合に27日以上あける」のみになります。その他の場合は間隔に関する規定はありません。

## 異なるワクチン同士の接種間隔



※接種から数日間は、発熱や接種部位の腫脹などの症状が出ることがあります。規定上接種が可能な期間であっても、必ず、発熱や接種部位の腫脹がないことなど、体調に問題がないことを確認してから、接種する必要があります。

※特に医師が認めた場合、同時接種を行うことができます。

※同一のワクチンを複数回接種する場合の接種間隔については添付文書等の規定に従ってください。

## ワクチンの分類

注射生ワクチン	経口生ワクチン	不活化ワクチン	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●麻しん風しん(MR)</li> <li>●水痘・帯状疱疹</li> <li>●BCG</li> <li>●おたふくかぜ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロタウイルス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インフルエンザ菌b型(Hib)</li> <li>●B型肝炎</li> <li>●日本脳炎</li> <li>●A型肝炎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肺炎球菌(小児用・成人用)</li> <li>●DPT ●DT ●ポリオ</li> <li>●HPV ●破傷風 ●帯状疱疹 など</li> <li>●髄膜炎菌</li> </ul>